

土屋義彦知事との新春対談

“彩の国”

市長 あけましておめでどうござい
ます。

知事 おめでどうございませ

市長 知事にはお忙しいところお運
びいただきましてありがとうございます。
今日は新春対談ということで、
これからの地方行政、そしてまちづ
くりについてのお考えなどを伺いた
いと思っています。どうぞよろしく
お願いいたします。

知事 こちらこそよろしくお願

1. 国政から県政へ、 住民に一番近い政治

市長 さて、知事は国政においては、

日本を世界に認めさせる外交をさ
れ、その後埼玉県知事となられてか
らは丸5年が経過しましたですね。

知事 そうですね。私は39歳のとき
から27年間、国政にたずさわり、その
後平成4年に66歳で知事となりまし
た。知事になった当初は戸惑いや不
安もありましたが、それがふつきれ
てからは、寝ても覚めても埼玉県の
ことを考えています。ふるさと埼玉
に恩返しをしたいと思い、その一念
で常に動き続けているんです。

市長 そうですか。知事のそういう
お気持ちには県民の皆さんも、よく知
っていると思います。

知事 さらに、分権型社会を構築す
るためには職員も積極的に意識改革
していかなければならないと思いま
す。そして、悪しき慣習と言われるよ
うなことは、直ちにこれを改めるこ
とです。また、職員に言うからには、
自分自身にも厳しくしています。

市長 私は知事のそういう一貫した
姿勢をいつも拝見していて、その人
間性こそ財産と言えるところだと思
います。なかなか真似のできるこ
とはありませんね。さて、知事は「現
場主義」という信念のもとに活躍さ
れていますが、特に「さわやかふるさ
と訪問」は大変好評で、知事がとても
身近に感じられます。知事が埼玉県
知事になられてから、埼玉が文字ど
おり「彩の国」として、明るくイメー
ジになったと思います。

知事 そうですか、うれいしいですね。
私は政治の原点は地方自治にあると
思っているんです。680万人の県
民のためにこれからも一生懸命努力
していきたいと思っています。
市長 それは私も同じ気持ちです。
常に市民の立場にたつて行動し、「市



民のための市政、市民とともに歩む
市政をめざしています。開かれた市
政運営のためには、市民の皆さんと、
いつでも、どんなところで積極的
に話し合い、相互理解と共感を育ん
でいくことがとても大切だと思っ
ています。そして、行政や市民それぞ
れが自ら決断したことは自ら責任を負
い、誰もがわけへだたりなく生活で
きることに。それが市民が真に誇
りと喜びをもつて生活できるまちづ
くりであると信じております。

知事 町田市長とはそういう点が共
通するようですね。お互い頑張りま
しょう。
市長 知事は住民主体の政治を行な
っていらつしやいますが、どんな県
政運営をめざしていらつしやるの
か、お伺いしたいと思います。
知事 そうですね、一つは公約にあ
るのですが「権力者にならないこと」

土屋義彦氏プロフィール



大正15年5月31日生まれ、春日部市在住
昭和25年 中央大学卒業
昭和34年 埼玉県議会議員初当選(以後連続2期)
昭和40年 参議院議員初当選(以後連続5期)
昭和45年 防衛政務次官
昭和54年 国務大臣、環境庁長官に就任
昭和63年 参議院議長に就任(第17代、18代)
平成4年 埼玉県知事初当選(再選、現在に至る)
平成8年 全国知事会会長に就任
著書に「埼玉独立論 小が大を呑む」(講談社)がある

です。そのために、県民一人ひとりに
常に監視役になっていただくこと
をお願いしているんです。また、開か
れた明るい「ひまわりのような県政」
をめざしています。
市長 知事の「アイデアを実行に移
す力」というのは非常に強いですね。



そして職員を引っ張っていく力。こ
れは埼玉県を日本一の県にすること
ができる力だと思えますね。私たち
市町村も、その力をしっかりと支え
ていかなければならないと思っ
ています。
知事 ありがとうございます。私もこれからの
時代は地方自治、特に住民に一番近
いところにある市町村の時代だと思
っているんです。ですから、町田市長
のようにおっしゃっていただけると
大変心強いし、埼玉県の市町村が全
て、そんな風に元気であるといいと
思います。例えば、国が親ならば県と
市町村は兄弟です。お互いに手をと
りあい、力を合わせて頑張ってい

たいものです。
市長 そのお考えは、知事が国でこ
活躍された経験があるからこそ、生
まれるものなのでしょうね。このよ
うな経験豊かな知事をもっているこ
とは、県民にとって幸せなことだと
言えますね。
2. 埼玉が日本の中心に
知事 ところで、今話題にもなっ
ている「さいたま新都心」、そして「埼玉
県領事館」なんです。この領事館の
利用者が、大変多いんですよ。県民の
皆さんに喜ばれている。これを作る
ときには国への働きかけが大変でし
たが、坂東副知事をはじめ、みんなが
よくやってくれましたよ。
市長 そうですか。平常時はもちろ
んのこと、震災のときなどはより大
きな威力を発揮することでしょうね。
知事 そうですね。また、さいたま新
都心についても着々と工事が進んで
います。より埼玉県が活気あるまち
になるよう、この事業にも大変力を
注いでいます。
市長 彩の国をさいたまのシンボルに
なると思っています。狭山市でも、現在、
「狭山市駅西口再開発事業」を進めて
いるところ。狭山市の顔として
市民皆さんが誇れるような、緑とゆ
たりのある魅力的な駅前をしたいと
思っています。高齢者も、若者も、市
外に通勤しているかたも、全ての人
が気軽に利用でき、狭山市民でよ

かったと思ってくれるようなまちづく
りをめざしています。
知事 そうですね。市町村が元気で、
しかも新都心の開発も順調に進んで
いけば、いずれ埼玉が日本の中心に
なっていくと思えますよ。県民の皆
さんとても喜んでくれています。
どこの市町村に行っても、「知事さ
ん、体に気を付けて頑張ってください
。」と応援してくれています。
市長 知事の周囲にいる人たちは知
事のお人柄などがよく分かると思
いますが、県民にとつても知事が身近
な存在としてよく理解されているか
らでしょうね。
3. 大切にしたい、環境
知事 私は以前、ノーベル賞を受賞
されたマサチューセッツ工科大学の
利根川博士とお話をする機会があっ
たのですが、そのときに「知事は科学
者みたいだ。」と言われたんです。こ
れは、私が一日も休まず、常に埼玉県
のことを考えている姿勢が、科学者
の研究に対する姿勢に通じていると
いうことでした。それから、宇宙飛行
士の若田さんとお話をするのが
あったのですが、このときは暗黒の
宇宙から見た地球がとても美しくあ
ったこととあわせ、私が環境庁長官を
務めたことなども話しました。私は
「環境優先、生活重視」を県政の基本
理念に掲げまして、環境については、
特に力を入れて取り組んできていま